
2 「希望の会」メーリングリストから ～ハリーポッターと特別活動

先日、特別活動「希望の会」のこれまでのメーリングリストを読んでいた時、埼玉の橋本先生が2008年末に投稿されたものにおもしろい記事を見つけましたので、紹介します。

2008年の年間ベストセラー第1位に輝いたのは、『ハリーポッターと死の秘宝』でした。シリーズがいよいよ完結するというので、私も発売されてすぐに購入し、あっという間に読んでしまいました。希望の会の皆様の中にも、既に手にされた方が多数いらっしゃるのではないかと思います。

この「ハリーポッターシリーズ」は、魔法使いが登場するファンタジーです。すぐとなりに魔法使いが暮らしているのではないかと思わせるようなリアリティーを感じさせます。その理由の一つに、人間社会のもつ闇の部分「暴力・差別・いじめ・テロ・戦争」を正面から描ききったことがあげられるでしょう。それらの闇の部分は、魔法で簡単に解決されません。主人公たちがそれらと向き合い、葛藤し、克服していくところに、読者は共感しながら読み進めていきますし、そこがこの作品の大きな魅力になっています。「ハリーポッターシリーズ」は、ファンタジーですが、決して夢の世界のお話ではないのです。

この作品の登場人物に、「ハーマイオニー」という女の子がいます。この子は、主人公のハリーを助ける仲間、準主役のような立場なのですが、とても優等生として描かれています。特に勉強に対する意欲が高く、ノートをびっしりとり、積極的に挙手して発言したがる、ある意味「ガリ勉」タイプです。実際、学年トップという成績優秀な「ハーマイオニー」が行った2つのエピソードから、学力と特別活動を結び付けるヒントを見つけたので、以下に紹介します。是非、希望の会の皆様からご意見を頂けるとうれしいです。

エピソード1：屋敷しもべ妖精福祉振興協会の設立（4巻）

屋敷しもべ妖精が、不当な扱いを受けていると感じたハーマイオニーは、屋敷しもべ妖精について図書室にこもって徹底的に勉強（独学）した後、屋敷しもべ妖精の「解放」を目指して「屋敷しもべ妖精福祉振興協会」を設立した。協会の設立にあたって、宣言文を作成し、短期的目標と長期的目標を設定するだけでなく、バッチをつくって安く売ることによってメンバーや運営費を集めたり、財務担当や書記などの役割を決めたりしている。

このエピソードから、「活用力」には特別活動で培った力が必要不可欠だと感じました。学習したことを実生活に生かす（活用する）際、個人のレベルにとどめるのではなく、人を巻き込んで組織的に活動した方がずっと効果的にもかかわらず、「組織的な活動」という発想がなかったり、組織の設立方法や運営方法を知らなかったりして、やらずじまいな

ことってよくあるのではないのでしょうか。そんな大げさなことでなくても、例えば総合的な学習の時間の探究的な学習において、特別活動で身に付けた「組織的な活動」のノウハウがあれば、より様々な教科で学んだことをダイナミックに活用していくことができると考えました。

エピソード2：ダンブルドア軍団の結成（5巻）

学校の方針により「闇の魔術に対する防衛術」の実技を教えてもらえない状況を受け、直面する課題に対応するために、生徒たち同士で隠れて「闇の魔術に対する防衛術」を学び合う自主サークルを結成した。そのサークルの名称が「ダンブルドア軍団」である。提案者のハーマイオニーが司会として会を運営し、名称だけでなく、会合の日時や連絡方法、場所、メンバーの条件などを決めていった。

このエピソードから、「自主学習力」にも特別活動で培った力が必要不可欠だと感じました。特に「知識基盤社会」であるこれからは、知識や技能が体系化される前にどんどん更新されていきます。そうすると、最新の知識や技能を学ぶためには、誰かに教えてもらうのではなく、互いに学び合うことができる組織（自主研究サークル等）が必要です。その組織がなければ自分は学ぶことができないのだから、「自主学習力」の中には、組織の運営に積極的に関わり、組織を維持・発展させるノウハウが含まれていなければなりません。このノウハウを身に付けるのも特別活動ではないのでしょうか。また、普段の授業の中でも、できる限りグループ学習などの学び合う場を多くもつとともに、学級を「学習集団」として機能させるために特別活動を位置づけるのも大切な視点かもしれません。

以上、論理に飛躍があったかもしれませんが、いかがだったでしょうか。冬休みで少し時間があつたので、考えていたことをまとめてみました。繰り返しになりますが、是非、希望の会の皆様からご意見を頂けるとうれしいです。

草加市立小山小学校 橋本大輔

3 メルマガ編集部からのお知らせ

◆山口学級活動ネットワーク メールマガジンの登録について◆◇◆

現在の購読者は280名弱となりました。これまで以上に内容を充実させていく必要を感じています。もっともっとメルマガ仲間が増えるといいなと思っています。お知り合いの方にこのメルマガを紹介してください。登録については、山口学級活動ネットワークのホームページをご参照ください。

url: <http://www.yamakoshu.org/gakkatu-net/>

◆メーリングリスト「学級づくり夢工房」◆◇◆

ネットワークでは、新たにメーリングリスト「学級づくり夢工房」を始めました。これは、メールを使って学級づくりに関する情報を気軽に交換し、皆さんがお持ちの実践を共有化しようというものです。

方法は簡単！ 下記アドレスまで「メーリングリスト希望」と書かれて送信してください。こちらで登録を行います。

ともに夢を追いかけましょう！

sugi-net@jewel.ocn.ne.jp

◆実践投稿のお願い◆◇◆

読者のみなさん、みなさんが取り組まれている情報を送ってください。学級づくりの実践を広げ、共有していきましょう。

どんな小さな事でもけっこうです。情報をお待ちしています。

=====

山口学級活動ネットワーク メールマガジン

☆ご感想・ご意見は

sugi-net@c-able.ne.jp または sugi-net@jewel.ocn.ne.jp まで

☆編集・発行 山口学級活動ネットワーク メールマガジン編集部

梶田崇晴（下関市立名池小）

津村元文（美祢市立伊佐小）

吉田哲朗（山口大学附属山口小）

西田智行（下関市立垢田小）

福永博一（萩市立椿西小）

=====

山口学級活動ネットワーク メールマガジン No.093